

# 避難時の注意点

「自分の命は自分で守る」という意識を持って行動しましょう!

## 戸締り・ガス・火元・電気のチェック

避難の際は、火の始末と戸締りを行いましょ。避難時の持ち出し品は必要最小限になるようまとめましょ。

## 車での避難は控える!

緊急車両の通行の妨げになります。浸水すると動けなくなりますので危険です。

## メモを残す!

外出中の家族へは、避難先を記した伝言メモを目立つところに残しておきましょう。

## 速やかに避難を!

動きやすい格好で、2人以上で避難ましょ。災害に巻き込まれる可能性があるため、忘れ物などを取りに、家に戻らないようにましょ。

## 洪水・土砂災害での避難の仕方

### 歩ける深さは50cm!!

歩ける水深は平均約50cm。水がひざまで来たら助けを呼び、高い所で救助を待ちましょ!

### 履き物に注意!

裸足、長靴は禁物です。ひもでしめられる運動靴が良いでしょ。

### ロープでつなげる!

はぐれないようにお互いの身体をロープで結んで避難ましょ! また、水面下には危険が潜んでいましょ。長い棒を杖がわりに安全確認をしてくださし。



### ! もしも、土石流に遭遇したら

#### ◆◆◆ 逃げ方に注意ましょ! ◆◆◆

土石流は流れるスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいましょ。土砂の流れる方向に対して、直角に逃げる等、逃げ方に注意ましょ。



## 援助が必要な人がいたら

### 《 高齢者や病気の方 》

お年寄りや子ども、病気の方などは、早めの避難が必要です。みなさんで協力して避難ましょ。



### 《 耳の不自由な方 》

話す時はまっすぐ顔を向け、口を大きくはっきり動かましょ。手話、筆談、身ぶりなどの方法で正確に情報を伝えましょ。



### 《 目の不自由な方 》

はっきり、ゆっくり大きな声で話しかけましょ。誘導する場合は、ひじの辺りを軽く持ってもらいゆっくりした速度で半歩前を歩ましょ。

### 《 体の不自由な方 》

車いすの方の場合、階段では必ず3人以上で! 昇る時は前向きに、降りる時は後ろ向きにましょ。